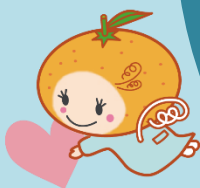


令和3年度 三重県看護職員 認知症対応力向上研修



9月 12日(日)
13日(月)
14日(火)

認知症の人と接する機会が多い看護職員に対し、医療機関等に入院から退院までのプロセスに沿った必要な基本知識や、個々の認知症の特徴等に対する実践的な対応力を習得し、同じ医療機関等の看護職員に対し伝達をすることで、医療機関内等での認知症ケアの適切な実施とマネジメント体制の構築を目的とします。

定員

50名程度

受講料 無料

- ①原則として、お申込みを受けた順で受講を決定します。
- ②受講希望者が定員を超えた場合は、受講を1施設1名に調整いただく、または受講のお断りをさせていただく場合がありますのでご了承ください。
- ③メールにて受講決定を通知します。受講希望日の1週間前までに、連絡がない場合にはお問い合わせください。

会場

三重県立看護大学
講義棟2階 多目的講義室
(三重県津市夢が丘1-1-1)



対象

次の各号を満たす者

- ①三重県内の医療施設等で勤務する指導的立場の看護職員(主任クラス以上)
- ②3日間の研修に全て参加できる者
- ③研修受講後、自施設での研修を実施し、指定された期日までに報告書を提出することができる者(様式等詳細は研修にてお知らせします)

注意事項

研修の注意事項

- ①この研修は、診療報酬の認知症ケア加算2の施設基準に該当する研修です。
- ②昼食等について、大学構内等での購入はできません。必要に応じ各自のご用意をお願いいたします。
- ③遅刻、早退は認められませんので、ご注意ください。

日程

3日間のコースです

9月 12日(日)	9:30~16:00
令和3年 13日(月)	9:30~16:00
14日(火)	9:30~17:30

問合せ先

三重県立看護大学
地域交流センター

TEL/FAX 059-233-5610
E-mail event.rc@mcn.ac.jp

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、今後の状況次第では、やむを得ず研修を中止する場合があります。その場合、本学ホームページにて中止のお知らせをしますので、ご確認をお願いいたします。また、受講決定者へは、施設の申込担当者様宛に連絡します。

※受講者はマスクの着用をお願いします。また、検温37.5以上の方は参加をご遠慮ください。

カリキュラム

基本知識編	認知症患者の入院から退院までのプロセスに沿って、基本的な知識を習得する。	山川伸隆(いせ山川クリニック 院長)
対応力向上編	個々の認知症の特徴・症状に対するより実践的な対応力(アセスメント、看護方法・技術、院内外連携手法)を習得する。	藪下茂樹(鈴鹿中央総合病院 社会福祉士) 横山智子(桑名市総合医療センター 認知症看護認定看護師) 荒木 学(三重県立看護大学 精神看護学 助教 精神看護専門看護師)
マネジメント編	マネジメント(人員、環境、情報管理等)の実践的な対応方法及び教育技能を習得する。	中西一美(松阪中央総合病院 認知症看護認定看護師)

※詳しくは別紙をご確認ください。

令和3年度三重県看護職員認知症対応力向上研修 受講申込書

所属施設名 所属部署		申込担当者名 職名	職名()
住所	〒	所属施設 電話番号	
申込担当者 メールアドレス	※決定通知書は、参加者全員分を申込 担当者あてに送付いたします。		

受講希望者情報

フリガナ 受講希望者名	生年月日	職名	情報公表 ^{注)} の意向確認
	(昭・平) 年 月 日		情報の公表に 同意する ・ 同意しない
	(昭・平) 年 月 日		情報の公表に 同意する ・ 同意しない
	(昭・平) 年 月 日		情報の公表に 同意する ・ 同意しない

注) 主な公表先は、医師会、三重県看護協会、病院関係団体、地域包括支援センター、三重県ホームページ等です。公表する情報は、「氏名、職名、勤務先(勤務先名、勤務先住所、勤務先電話番号)」です。

<申込期間> 令和3年6月28日(月)～8月27日(金)

<申込方法> QRコードまたは下記のサイトより、お申し込みください。
URL <http://www.mcn.ac.jp/questionnaire/1417>
メールまたはFAXからもお申し込みいただけます。必要事項
をご記入のうえお申し込みください。※送付状は不要です。



【お申込・お問い合わせ先】

三重県立看護大学地域交流センター(三重県津市夢が丘1-1-1)

TEL/FAX 059-233-5610

E-mail event.rc@mcn.ac.jp

時間	講師	研修内容	
基本知識編			
9月12日(日)	いせ山川クリニック 院長 山川 伸隆	ねらい 認知症患者の入院から退院までのプロセスに沿って、基本的な知識を習得する	
		到達目標 1. 病院勤務の医療従事者向けに認知症に関する知識を普及することができる	
		主な内容 ・急性期病院での認知症の現状、認知症の病態、症状 ・せん妄の基本的な知識、予防、発見、対応 ・認知機能障害に配慮した身体管理 ・認知機能障害に配慮したコミュニケーションの基本 ・情報共有、退院調整、身体拘束、治療同意についての基本的な知識 ・管理者による取組の重要性 ・認知症に特有な倫理的課題と意思決定支援	
対応力向上編			
13:30 ~ 16:00	三重県立看護大学 精神看護学 助教 精神看護専門看護師 荒木 学	ねらい 到達目標 主な内容 2日目 対応力向上編 参照	
対応力向上編			
9月13日(月)	鈴鹿中央総合病院 社会福祉士 藪下茂樹	ねらい 個々の認知症の特徴・症状に対するより実践的な対応力(アセスメント、看護方法・技術、院内外連携手法)を習得する	
		到達目標 1. 入院及び退院時支援に必要となるアセスメントを実施し、適切に院内外に連携することができる 2. せん妄について、認知症との違いを理解し、特有の対応を適切に行うことができる	
	11:30 ~ 12:30 13:30 ~ 16:00	三重県立看護大学 精神看護学 助教 精神看護専門看護師 荒木 学 桑名市総合医療センター 認知症看護認定看護師 横山智子	主な内容 ・認知症患者の身体管理 ・一般病院に求められる役割 ・認知症患者の世界観の理解、中核症状の理解、基本的な評価方法(アセスメント) ・認知症の疾病経過の理解と疾病段階を踏まえた看護・支援のあり方 ・認知症を疑った場合の初期対応として実践すべき看護、初期集中支援 ・チームや病棟内での情報共有、部門間での情報共有 ・行動・心理症状(BPSD)の予防と病棟での環境整備 ・行動・心理症状(BPSD)の理解とアセスメント、看護方法 ・せん妄の病態、診断・同定、認知症との鑑別 ・せん妄の対策(予防及び早期発見・早期対応) ・退院調整での課題(特に再入院や緊急入院を防ぐためのコーディネート) ・地域連携(在宅医療、地域包括ケアの知識、退院時の情報提供、介護施設との連携) ・(演習)看護計画立案を通じた事例検討
マネジメント編			
9月14日(火)	松阪中央総合病院 認知症看護認定看護師 中西一美	ねらい マネジメント(人員、環境、情報管理等)の実践的な対応方法及び教育技能を習得する	
		到達目標 1. 各施設の実情に応じた認知症への対応方法を検討し、適切なマネジメント体制を構築することができる 2. 自施設における看護職員への研修(本研修 I 基本知識編相当)を実施することができる	
13:30 ~ 17:30		主な内容 ・認知症に関する事例を収集、見返し、フィードバックをする体制 ・病棟内、部門間での情報共有、人員の配置 ・コンサルテーション体制(院内、地域内での専門家へのアクセスの確保) ・標準的な対応手順・マニュアルの検討整備(認知症の療養・退院支援、行動・心理症状、せん妄) ・施設内での目標設定・研修計画立案、教育技法 ・自施設での研修を実施する上でのポイント、教育の要点の伝達 ・(演習)自施設の現状の検討、振り返り ・(演習)自施設内でのマネジメント体制の検討、研修計画立案	

